

令和5年における労働災害発生状況

令和5年7月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況 その1

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	28	4,384	4,412	20	4,601	4,621	-209	-4.5	100.0	53	16,419	16,472
製造業	2	588	590	4	651	655	-65	-9.9	13.4	5	1,343	1,348
食料品	1	319	320		343	343	-23	-6.7	7.3	1	730	731
木材・家具		51	51		47	47	4	8.5	1.2		101	101
紙・印刷		10	10		16	16	-6	-37.5	0.2		36	36
窯業・土石		24	24		35	35	-11	-31.4	0.5		66	66
金属・機械		102	102		91	91	11	12.1	2.3		191	191
その他	1	82	83	4	119	123	-40	-32.5	1.9	4	219	223
鉱業		3	3		1	1	2	200.0	0.1		3	3
土石採取業		7	7		10	10	-3	-30.0	0.2		19	19
建設業	3	413	416	7	397	404	12	3.0	9.4	23	995	1,018
土木工事業	1	138	139	2	139	141	-2	-1.4	3.2	13	390	403
建築工事業	2	182	184	3	165	168	16	9.5	4.2	5	398	403
木造建築業		44	44		48	48	-4	-8.3	1.0		113	113
その他		49	49	2	45	47	2	4.3	1.1	5	94	99
交通運輸事業	1	155	156		162	162	-6	-3.7	3.5	1	413	414
陸上貨物運送事業	4	434	438	3	433	436	2	0.5	9.9	5	864	869
道路貨物運送	4	402	406	3	406	409	-3	-0.7	9.2	5	810	815
陸上貨物取扱		32	32		27	27	5	18.5	0.7		54	54
港湾運送業		5	5		9	9	-4	-44.4	0.1		17	17
林業	3	36	39		51	51	-12	-23.5	0.9	1	80	81
水産業	1	53	54		56	56	-2	-3.6	1.2	2	133	135
商業	3	528	531	3	567	570	-39	-6.8	12.0	5	1,196	1,201
清掃・と畜業	3	204	207	1	251	252	-45	-17.9	4.7	1	481	482
上記以外の事業	8	1,958	1,966	2	2,013	2,015	-49	-2.4	44.6	10	10,875	10,885

本統計は、労働者死傷病報告書(休業4日以上)により集計したものである。

本年については、集計期間中に把握した速報値である。

昨年については、確定値を集計期間中に再集計したものである。

業種別労働災害発生状況 その2

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		41	41	1	32	33	8	24.2	0.9	1	117	118
畜産業	1	169	170		147	147	23	15.6	3.9	2	328	330
金融・広告業		26	26		19	19	7	36.8	0.6		50	50
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			7	7
通信業		111	111		112	112	-1	-0.9	2.5		185	185
教育・研究業		35	35	1	34	35			0.8	1	121	122
保健衛生業		1,225	1,225		1,371	1,371	-146	-10.6	27.8	1	9,302	9,303
接客娯楽業	2	209	211		161	161	50	31.1	4.8		387	387
その他の事業	5	142	147		135	135	12	8.9	3.3	5	378	383
合計	8	1,958	1,966	2	2,013	2,015	-49	-2.4	44.6	10	10,875	10,885

「第三次産業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	3	528	531	3	567	570	-39	-6.8	12.0	5	1,196	1,201
うち 小売業	1	408	409	3	457	460	-51	-11.1	9.3	4	935	939
金融・広告業		26	26		19	19	7	36.8	0.6		50	50
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			7	7
通信業		111	111		112	112	-1	-0.9	2.5		185	185
教育・研究業		35	35	1	34	35			0.8	1	121	122
保健・衛生業		1,225	1,225		1,371	1,371	-146	-10.6	27.8	1	9,302	9,303
うち 社会福祉施設		563	563		705	705	-142	-20.1	12.8	1	3,827	3,828
うち 医療保健業		657	657		657	657			14.9		5,451	5,451
接客・娯楽業	2	209	211		161	161	50	31.1	4.8		387	387
うち 飲食店		108	108		78	78	30	38.5	2.4		197	197
うち 旅館業		51	51		34	34	17	50.0	1.2		89	89
うち ゴルフ場	1	16	17		12	12	5	41.7	0.4		40	40
清掃・と畜業	3	204	207	1	251	252	-45	-17.9	4.7	1	481	482
その他の事業	5	142	147		131	131	16	12.2	3.3	5	378	383
うち 警備業	4	40	44		33	33	11	33.3	1.0	3	73	76
合計	13	2,480	2,493	5	2,648	2,653	-160	-6.0	56.5	13	12,107	12,120

令和5年における死亡災害発生状況 [速報]

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

業種	令和5年		令和4年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	28 (6)	100.0	20 (4)	100.0	8	40.0	6	37.5
製造業	2 ()	7.1	4 ()	20.0	-2	-50.0	-2	-50.0
鉱業	()		()			-		-
建設業	3 (1)	10.7	7 (1)	35.0	-4	-57.1	-4	-66.7
交通運輸事業	1 (1)	3.6	()		1	-		-
陸上貨物運送事業	4 (1)	14.3	3 (1)	15.0	1	33.3	1	50.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	3 ()	10.7	()		3	-	3	-
その他の事業	15 (3)	53.6	6 (2)	30.0	9	150.0	8	200.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和5年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

業種	令和5年		令和4年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	15 (3)	100.0	6 (2)	100.0	9	150.0	8	200.0
小売業	1 (1)	6.7	3 (2)	50.0	-2	-66.7	-1	-100.0
医療保健業	()		()			-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	2 ()	13.3	1 ()	16.7	1	100.0	1	100.0
ビルメンテナンス業	1 ()	6.7	()		1	-	1	-
ゴルフ場の事業	1 ()	6.7	()		1	-	1	-
警備業	4 (1)	26.7	()		4	-	3	-
農業・畜産業	1 (1)	6.7	1 ()	16.7			-1	-100.0
水産業	1 ()	6.7	()		1	-	1	-
その他	4 ()	26.7	1 ()	16.7	3	300.0	3	300.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和5年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央						2						3	5
札幌東							1					2	3
函館											1	1	2
小樽													
岩見沢												1	1
旭川	1									1			2
帯広					1	1							2
滝川													
北見	1				2	1						1	5
室蘭												3	3
釧路										1		1	2
名寄													
留萌													
稚内													
浦河												1	1
苫小牧										1			1
倶知安												1	1
計	2				3	4	1			3	1	14	28

令和5年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和5年1月1日～令和5年7月31日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商 業		社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率			
		計	食品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業		その他建設業	計	道路貨物運送業				陸上貨物取扱業	計						小売業	その他商業	
札幌中央	691	44	18	1	4	2	9	10		2	59	14	32	3	10	44	69	65	4		1		94	71	23	135	20	56	167	9.7%	
	758	50	18	2		1	20	9			66	8	44	5	9	41	69	61	8			1	109	78	31	93	21	50	258		
札幌東	1,083	106	55	5	3	2	19	22			91	24	49	7	11	56	123	104	19	1	1		162	121	41	189	21	59	274	-20.6%	
	860	96	53	4	5	3	13	18			84	28	38	7	11	47	127	110	17				138	96	42	104	30	41	193		
函館	418	50	29	2	2	3	8	6			39	24	12	1	2	8	31	31				9	8	41	36	5	97	6	25	104	27.0%
	531	66	47	6			8	5			45	19	17	3	6	5	29	28	1		2	13	50	44	6	55	7	12	247		
小樽	215	66	34	1	1		2	28			9	5	3		1	5	9	9					1	17	14	3	20	1	5	82	-29.3%
	152	29	19	2		1	2	5		1	12	8	1		3	11	8	8					2	18	15	3	34	4	7	26	
岩見沢	130	27	16	1	1	2	3	4			8	6	1		1	4	13	12	1			1	20	19	1	28		7	22	-24.6%	
	98	21	7	1	1	2	9	1			15	9	5		1	2	7	6	1				9	8	1	20	4	2	18		
旭川	302	44	14	9	1	3	9	8		2	34	11	15	5	3	13	28	28				7		48	39	9	33	4	15	74	11.9%
	338	47	21	9		4	8	5		1	30	13	10	3	4	8	29	29				3		44	34	10	71	9	18	78	
帯広	295	42	33	1		1	3	4		2	22	7	5	7	3	3	31	31				9	1	34	32	2	36	4	10	101	3.4%
	305	48	33	7		1	3	4	1	2	27	7	10	7	3	4	36	36				7		31	26	5	26	5	21	97	
滝川	90	26	7	3		2	6	8			9	2	3	3	1	5	11	11				1	1	8	6	2	4	2	6	18	18.9%
	107	14	2	2		1	5	4	2		16	7	6	3		6	2	2				1		12	10	2	32	2	2	18	
北見	161	30	12	7		4	2	5		2	20	10	5	3	2	2	12	11	1			8	7	16	10	6	11	1	11	41	36.6%
	220	45	34	3		1	4	3			17	7	7	3		4	15	13	2			11	6	24	18	6	26	2	14	56	
室蘭	200	56	47			1	6	2			18	5	6	5	2	4	8	8		2			1	19	18	1	12	4	15	61	-21.5%
	157	27	8			2	9	8			16		9	4	3	7	7	7		1				19	18	1	10	7	10	53	
釧路	282	41	29	2			2	8	1		25	5	17	2	1	9	36	34	2	2		4	14	38	33	5	45	6	13	48	-11.3%
	250	48	28	3		1	10	6		1	31	10	15	4	2	7	27	26	1			4	14	34	28	6	28	7	10	39	
名寄	61	13	4	2		2	1	4		1	5	2	3		1	3	3					4	6	8	7	1	6	1	3	10	4.9%
	64	13	7	5				1			9	3	4	1	1	1	8	8				5	6	4	4		7		2	9	
留萌	33	5	4					1			5	4		1		2	5	5		1	2			5	5		2		3	3	-9.1%
	30	6	5					1			5	4		1		1	5	5						3	3	3		1		5	
稚内	87	19	14	1		4					11	6	2	2	1	1	3	3						13	6	4	2	21		11	-34.5%
	57	9	7			1	1			1	9	4	4	1			7	7				1	5	1	1		9		1	14	
浦河	100	9	4	2			1	2			6	2	1	2	1		2	2				1	2	4	3	1	9		3	64	
	100	4	1	1		1		1			6	5	1				2	2				1	3	2	2		8		1	73	
苫小牧	416	73	21	10	4	8	20	10		1	30	9	7	7	7	4	51	51		3	4	2	41	36	5	50	7	13	137	-22.8%	
	321	55	23	2	4	5	10	11		1	20	5	9	2	4	8	58	56	2	4	4		28	24	4	36	9	14	84		
倶知安	57	4	2			1		1			13	5	7		1	1	1	1					9	6	3	7	1	6	15	12.3%	
	64	12	7	4				1			8	2	4		2	4	2	2					1	5		5	3	1	1		27
合計	4,621	655	343	47	16	35	91	123	1	10	404	141	168	48	47	162	436	409	27	9	51	56	570	460	110	705	78	252	1,232	-4.5%	
	4,412	590	320	51	10	24	102	83	3	7	416	139	184	44	49	156	438	406	32	5	39	54	531	409	122	563	108	207	1,295		
対前年比増減率	-4.5%	-9.9%	-6.7%	8.5%	-37.5%	-31.4%	12.1%	-32.5%	200.0%	-30.0%	3.0%	-1.4%	9.5%	-8.3%	4.3%	-3.7%	0.5%	-0.7%	18.5%	-44.4%	-23.5%	-3.6%	-6.8%	-11.1%	10.9%	-20.1%	38.5%	-17.9%	5.1%		

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

令和5年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	2	10時台	食料品製造業	50人以上 99人	激突され	動力運搬機 2 2 2	被災者ら2名は、ホタテ貝殻粉碎機の入替を終え、ベルトコンベヤー（以下、「コンベヤー」という。）を元の位置に戻すため、同僚がフォークリフトのインナーマスト頂部の横梁にコンベヤーの上端部を載せて持ち上げながら前進してずらそうとしたところ、コンベヤーが横ずれし、離れて合図をしていた被災者が咄嗟に駆け寄り抑えようとしたが、当該コンベヤーが横転して被災者に激突したものの。
5	2	15時台	化学工業	10人以上 29人	墜落、転落	用具 3 7 1	被災者は、在庫品が保管してある棚の最上部（高さ2.85m）からビニールロール（直径11cm、長さ3.01m、厚さ0.15mm、重さ約30kg）を取り出そうと、脚立を跨ぐように上から1段目（高さ2.07m）に両足をのせ、当該ロールを右脇に抱え引っ張ったところ、後方にバランスを崩し墜落したものの。

令和5年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	6	8時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	一般動力機械 169	被災者は、堤防の草刈作業に従事し、堤防の法面で乗用草刈機を運転していたところ、草刈機が用水路に落下し、同機械の下敷きとなった状態で発見されたもの。
5	6	16時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物・構築物・建築物等 415	屋根板金のふき替え作業中、勾配のある屋根上で軒側に背を向けて後ずさりしていたところ、約8m下の地面に墜落したものの。
5	7	19時台	建築工事業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機 221	社用車のトラックを運転して出張先から自社に戻る際、片側1車線の直線道路上でセンターラインをはみ出して路外に逸脱したものの。

令和5年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	2	8時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	転倒	環境等	被災者は、荷の配送先の駐車場で、運転してきた2tトラックの前方で倒れているところを近隣の者に発見されたもの。
5	2	6時台	道路貨物運送業	10人未満	はさまれ、巻き込ま	動力運搬機	被災者は、事業場の敷地内において9tダンプトラックの車体と荷台の間に挟まれているところを発見されたもの。
5	4	15時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込ま	動力運搬機	被災者がコンテナヤードにおいて、約60センチメートルの間隔が空いたコンテナとコンテナの間で、コンテナの扉を結束バンドで封緘する作業を行っていたところ、フォークリフト運転者が被災者に気が付かないままコンテナの間隔を詰めたことから、コンテナとコンテナの間に被災者が挟まれたもの。
5	4	12時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、製材を積み込んだトレーラーに乗り、輸送先に向かって運転していた。当該トレーラーがICから高速道路に合流する手前のカーブを曲がり切れずに、路外に横転したもの。

令和5年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	1	10時台	林業	10人未満	激突され	車両系木材 伐出機械等 171	被災者は、倒木の整理作業現場において、チェーンソーを用い集積された倒木の根切り作業に従事し、同僚労働者が根が切り落とされた倒木をグラブプル機で移動させていたが、当該グラブプル機が旋回した際に掴んでいた倒木が被災者の頭部に激突したものの。
5	3	16時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等 712	被災者は、同僚複数名とチェーンソー及び伐木機械を用いて伐木作業を行っていた。各作業員は離れた持ち場で作業していたが、終了時刻になって、伐倒木に腹部を押され、うつ伏せで倒れている被災者が発見されたものの。
5	7	9時台	林業	10人未満	崩壊、倒壊	環境等 712	被災者は、同僚5名と現場に入場し、チェーンソーを用いてトドマツ(人工林、樹高22m)の間伐作業中、伐採していたトドマツの近くに立っていたカバの枯損木(樹高15m)が倒壊し、当該枯損木が被災者に当たったものの。

令和5年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	1	7時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	墜落、転落	用具 371	被災者は、小売店舗内において、荷の搬入口のシャッターを開閉するチェーンが建物天井付近にて絡まっていたのを直すため、脚立を開いてはしごとして使用し、当該絡まりを直していたが、作業を終え、はしごから降りる途中で足を踏み外して転落し、床に頭部を強打したものの。
5	2	7時台	その他の商業	30人以上 49人	おぼれ	仮設物・建築物等 418	被災者は、自社が行う外国船への荷の積み込み作業に関して、荷主と打ち合わせを行った後、当該外国船が停泊している岸壁近くの海面に浮いているのが発見されたもの。
5	2	8時台	卸売業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	被災者は、大型円形搾乳機(ロータリーミルクパーラー)の修理作業のため、前日深夜から単独で現場に入場していたが、翌朝、駆動モータ付近で頭部から血を流して倒れているところを発見されたもの。
5	3	17時台	その他の事業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 144	片側2車線の道路舗装工事現場において、舗装工事中の現場の交通誘導を行っていた被災者が、後進中のタイヤローラーに背後から轢かれたもの。
5	2	20時台	小売業	10人未満	(交通事故)	乗物 231	被災者は、勤務終了後、翌日出勤予定の店舗の付近で前泊するために軽自動車を運転していたところ、凍結路面でスリップし、対向車線へはみ出し、トラックと衝突したものの。
5	3	9時台	水産業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	乗物 239	計4名が乗り込んだ漁船で、ホタテの養殖のため船に平行に固定されたケタロープに稚貝を取り付ける作業を行っており、被災者は箱に入った稚貝を他の作業員に手渡す作業に従事していた。巻き上げ機を止めて作業していたが、巻き上げ機が作動しており、ケタロープを固定するアームと巻き上げ機の間で挟まれていたもの。
5	2	14時台	その他の事業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 371	被災者が屋根に積もった雪庇を落とす作業を行うため、はしごを昇降していたところ、はしごから墜落したものの。
5	4	13時台	清掃・と畜業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	堆肥の発酵とふるい分けを行う施設内で、被災者は、堆肥とゴミを選別する機械と、当該機械の覆いの中で、意識のない状態で発見されたもの。

令和5年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	5	9時台	清掃・と畜業	10人以上 29人	飛来、落下	一般動力機械 169	客先の工場にあるタンクの内部を高圧洗浄水を用いて清掃する作業において、高圧洗浄車の横で機械操作を行っていたところ、高圧洗浄車のポンプから圧送用のホースが外れ、ポンプ内部より噴き出した高圧洗浄水が被災者の頭部に直撃したもの。
5	5	21時台	その他の事業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ、巻き	動力運搬機 221	建設工事現場において、一般車両の交通誘導を行っていた警備員である被災者が、荷の搬入のために現場内で後進していたトラックに背後から轢かれたもの。
5	6	11時台	畜産業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機 211	大型トラックで片側1車線の緩やかな左カーブを走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向車線を走行中のバスと正面衝突したもの。
5	6	11時台	道路旅客運送業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機 211	都市間バスで片側一車線の一般道を走行していたところ、対向車線にはみ出してきたトラックと正面衝突したもの。
5	7	9時台	その他の事業	50人以上 99人	交通事故（道路）	動力運搬機 221	工事現場の出入口で、資材の搬入に来た積載型トラッククレーンの後進を誘導していた被災者は、歩道と車道の段差を解消するために設けたスロープがずれたため設置し直していたところ、停車していた積載型トラッククレーンが後進し、ひかれたもの。
5	7	11時台	その他の接客娯楽業	10人以上 29人	転倒	乗物 239	被災者は、芝生に孔を開けるための作業車（エンジン式3輪、3段変速MT車）に乗り、カート用の道路（幅員2.1m）を走行中、下り坂の右急カーブの直後、右側に横転し、車体の右側面と路面との間に頭をはさまれたもの。
5	7	20時台	その他の接客娯楽業	100人以上 299人	墜落、転落	用具 371	終業時刻後になっても帰宅していない被災者を捜索したところ、建物内で横たわっている状態で発見され、数日後死亡したもの。現場にははしごが倒れており、床には血痕があった。
5	7	8時台	その他の事業	30人以上 49人	高温との接触	環境等 715	ボイラー室内においてボイラー運転業務を行っていた被災者が、机に伏せる状態で発見され、その後病院に救急搬送されたが、脱水症状があり、同日死亡したもの。

死亡労働災害の概要(令和5年7月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	7	9時台	その他の事業	50人以上 99人	交通事故(道)	動力運搬機 2 2 1	工事現場の出入口で、資材の搬入に来た積載型トラッククレーンの後進を誘導していた被災者は、歩道と車道の段差を解消するために設けたスロープがずれたため設置し直していたところ、停車していた積載型トラッククレーンが後進し、ひかれたもの。
5	7	11時台	その他の接客娯楽業	10人以上 29人	転倒	乗物 2 3 9	被災者は、芝生に孔を開けるための作業車(エンジン式3輪、3段変速MT車)に乗り、カート用の道路(幅員2.1m)を走行中、下り坂の右急カーブの直後、右側に横転し、車体の右側面と路面との間に頭をはさまれたもの。
5	7	9時台	林業	10人未満	崩壊、倒壊	環境等 7 1 2	被災者は、同僚5名と現場に入場し、チェーンソーを用いてトドマツ(人工林、樹高22m)の間伐作業中、伐採していたトドマツの近くに立っていたカバの枯損木(樹高15m)が倒壊し、当該枯損木が被災者に当たったもの。
5	7	19時台	建築工事業	10人以上 29人	交通事故(道)	動力運搬機 2 2 1	社用車のトラックを運転して出張先から自社に戻る際、片側1車線の直線道路上でセンターラインをはみ出して路外に逸脱したもの。
5	7	20時台	その他の接客娯楽業	100人以上 299人	墜落、転落	用具 3 7 1	終業時刻後になっても帰宅していない被災者を捜索したところ、建物内で横たわっている状態で発見され、数日後死亡したもの。現場にははしごが倒れており、床には血痕があった。
5	7	8時台	その他の事業	30人以上 49人	も高温との接触	環境等 7 1 5	ボイラー室内においてボイラー運転業務を行っていた被災者が、机に伏せる状態で発見され、その後病院に救急搬送されたが、脱水症状があり、同日死亡したもの。